

平成 11 年度試験研究成果

区分	研究	題名	調理用トマトの品種と作型における収量の特徴
[要約] 調理用トマトの品種と作型について検討した結果、本年度の高温干ばつ下であっても、2 ～ 3 月播き作型において「盛岡交 28 号」の収量が安定して高かった。			
キーワード	調理用トマト	ハウス栽培	県北農業研究所 産地育成研究室

1. 成果の内容

近年調理用トマトの需要が増大しているが、その多くは輸入品の缶詰で賄われており、国産品への期待が大きい。県北地域は、夏期冷涼な気象条件が調理用トマトの栽培に適していると考えられ、地域特産品目として早期に産地化を図るため、東北農業試験場の知見をベースにして当地域に適する技術の確立を目指した。

- (1) ハウス栽培は、露地栽培より早く収穫が始まり、露地栽培に比較すると収穫の分散が図られ、収量も 14 % 増加する。青果物として長期継続出荷を考えるとハウス栽培が有利であり、水稻育苗用ハウス等の有効利用も可能である。(図 1)
- (2) 各品種とも、高い可販収量を得られたのは、2 月 15 日～ 3 月 30 日播種までの作型であった。(表 1)
- (3) 「なつのこま」(野菜・茶業試験場育成) は作型により総収量の変動が大きく、平均果重は、40 g 前後となった。(表 1、2)
- (4) 「盛岡交 28 号」(野菜・茶業試験場育成) は、各作型において安定した収量を得られ、他の品種よりも高くなっていた。平均果重は 55 g 前後であった。(表 1、2)
- (5) 「NDM 153」(日本デルモンテ育成) は、4 月 15 日播種以降の作型で収量が高くなっているが、他の作型では「なつのこま」、「盛岡交 28 号」の中間の収量であった。平均果重は、65 g 前後と他の 2 品種より重かった。(表 1、2)
- (6) 収穫開始までの日数については、品種による大きな差は認められなかった。(表 2)

2. 成果の活用方法及び留意事項

- (1) 今年度の栽培試験中の気象条件は、収穫初期の 7 月中旬から 8 月下旬まで高温・乾燥が続き受精障害による「花とび」が発生し、収量低下の要因となった。また、ハウス内の高温や土壌水分の不足により「尻腐れ果」が多発した。この対策として Ca 剤の葉面散布やかん水を行ったが防止できなかった。腐敗果に区分された果実のほとんどはこれが原因で、可販収量に大きく影響したものと考えられる(表 1、2)。
- (2) 次年度以降の試験においては、栽植方法等省力・安定多収を目指した栽培技術について検討し、基礎技術の確立に努める。
- (3) また、今年度の試験条件や試験結果と現地実証農家の栽培状況を分析し、専門技術員、関係普及センター等と連携して、現地実証農家への指導を行う。
- (4) なお、今年度試験で安定した収量を得られた「盛岡交 28 号」については、現在、野菜茶業試験場において、当研究所での栽培試験結果も折り込み、農林水産省育成品種として申請中である。来年度も種子の市販は行われませんが、農家段階の規模で特性の調査を継続して実施し、種子の市販が開始された際に活用する。

3. 当該事項にかかる試験研究課題

野菜 3 - 2 - (4) - エ 高付加価値農産物の生産流通技術の開発
(ウ) 調理用トマトの安定生産技術

4. 参考文献・資料

東北農業試験場 平成 10 年度単年度試験研究成績

5. 試験成績の概要

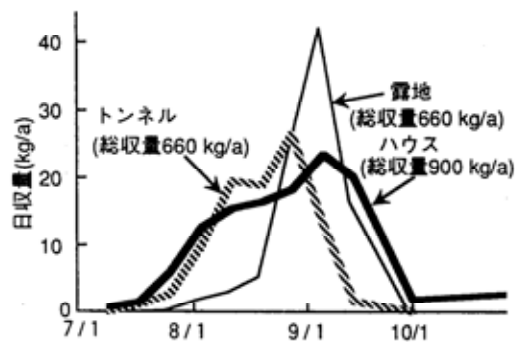


図1 収量の経日変化に及ぼす被覆法の影響

< 研究所内での耕種概要 >

1. 栽植様式 畝巾200cm、株間70cm 1条植え、
栽植本数 70株/a 透明マルチ、畝間に黒のラブシート敷
2. 播 種 2 / 1 5 ~ 4 / 3 0 迄半月おき
1 2 8 穴セルトレイ、
三井セル専用培土 N 2 2 0
3. 鉢上げ 3 / 1 6 ~ 5 / 2 7 播種後約 1 月
1 2 cm鉢に1鉢に1株に外ハ園芸培土植え
4. 定 植 4 / 1 5 ~ 7 / 1 播種後約 2 月
5. 施肥量 (kg/a)
N 0.7 P 1.9 K 0.7

(東北農業試験場 小沢1998 原図)

注：なつのこま、2月28日播種、5月2日定植

表1 各作型の月別可販収量の推移(kg/a)

作型	品種名	7月	8月	9月	10月	11月*	合計
2月15日播種	なつのこま	106.1	217.9	55.1	39.2	33.0	451.3
	盛岡交28号	154.5	357.2	55.0	73.2	160.8	800.8
	N D M 153	82.0	149.3	33.9	72.1	133.0	470.4
3月2日播種	なつのこま	29.1	131.0	20.6	17.9	9.9	208.4
	盛岡交28号	86.6	509.6	63.2	47.6	99.6	806.7
	N D M 153	65.2	282.8	74.5	114.8	259.2	796.4
3月15日播種	なつのこま	25.1	244.1	31.3	31.1	34.5	366.0
	盛岡交28号	79.5	544.4	51.5	69.2	152.5	897.1
	N D M 153	80.4	272.5	99.0	82.3	216.4	750.7
3月30日播種	なつのこま	13.9	239.1	54.8	35.1	16.2	359.1
	盛岡交28号	25.8	410.4	128.7	39.5	36.1	640.5
	N D M 153	28.1	359.3	99.6	53.7	108.5	601.8
4月15日播種	なつのこま	0	53.1	58.3	26.2	34.2	171.8
	盛岡交28号	0	119.7	173.4	65.8	79.0	439.4
	N D M 153	0	119.9	196.1	106.9	157.0	579.9
4月30日播種	なつのこま	0	6.8	38.4	18.5	49.3	113.0
	盛岡交28号	0	35.0	142.5	128.0	158.1	463.6
	N D M 153	0	22.4	106.7	149.7	216.4	495.5

* 11月15日で収穫終了

表2 各作型における品種の特徴

作型	品種名	収穫開始日 (月日)	規格別割合(%)			1果平均重 (g)
			30g以上	30g以下	腐敗果	
2月15日播種	なつのこま	7/5	52.0	20.0	28.1	36.0
	盛岡交28号	7/5	66.1	11.9	22.0	46.2
	N D M 153	7/1	57.6	7.7	34.6	46.2
3月2日播種	なつのこま	7/15	38.4	24.9	36.7	35.3
	盛岡交28号	7/15	72.3	9.2	18.5	51.7
	N D M 153	7/15	64.1	11.6	24.3	63.9
3月15日播種	なつのこま	7/25	51.2	20.4	28.5	38.9
	盛岡交28号	7/15	71.4	7.2	21.4	53.9
	N D M 153	7/15	74.0	4.7	21.3	66.9
3月30日播種	なつのこま	7/25	52.7	10.7	37.0	44.4
	盛岡交28号	7/25	67.9	4.8	27.3	56.4
	N D M 153	7/25	76.2	4.2	19.5	66.0
4月15日播種	なつのこま	8/10	44.6	14.8	40.6	42.4
	盛岡交28号	8/1	64.7	7.2	28.0	55.6
	N D M 153	8/5	77.1	3.4	19.5	70.8
4月30日播種	なつのこま	8/19	43.1	23.4	33.5	39.1
	盛岡交28号	8/19	78.5	6.9	14.5	56.6
	N D M 153	8/19	82.1	1.8	16.1	70.6